

国語科 学習指導案

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 柳屋 亮

1 対象・日時 1年A組 令和8年1月24日(土) 1校時

2 本単元で育成したい資質・能力（評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ②言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 ※②は2年生の指導事項であるため、記録に残す評価はしない。	①「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	①粘り強く話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習課題に沿って他の人の考えを聞き合いながら、自分の考えを広げようとしている。

○本単元の言語活動 互いの考えを伝えるなどして、グループで話し合う活動。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 A (2) イ)

3 単元「他の人の考えを聞き合いながら、自分の考えを広げよう—目的を意識して話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる—」について

本単元では、「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。」（〔思考力・判断力・表現力等〕 A (1) オ）を育成したい資質・能力として設定し、前単元「読むこと」の学習で形成した考えを広げられるような話し合いを行うことを学習課題として設定する。

本校では、様々な教科の学習で生徒同士が考えを話し合う活動が活発に行われている。しかし、話し合い活動において生徒達は、それぞれの考えを交流し多様な考えに触れてはいるものの、自分の考えを述べるだけ、相手の話を聞くだけにとどまっている部分が見られる。自分とは異なる他者の考えを聞き、それらの考えと比較したり関連付けたりしながら自分の考えを広げたり深めたりする話し合いが十分にできていない現状がある。

そこで、本単元では前単元「読むこと」の学習で、詩（まど・みちお著「ぼくがここに」）を読んで形成した、自分が「ここにいる」ことの意味や価値についての考えを広げられるような話し合いについて考え、実践する学習を行うこととした。自分の考えを広げるためには、言葉の音声的な側面に着目しながらどのように話し合う必要があるかを考えさせた上で、自分が「ここにいる」ことについて疑問に思うことや他の人に聞きたいことを挙げ共有し、中心となる内容や問い合わせを設定させて話し合う活動を行う。特に他者の話を聞くことを重視して話し合せ、考える対象を多面的・多角的に捉えるとともに、自分とは異なる他者の考えを受け入れた上で自分の考えを見直させることで、目標とする資質・能力を育成したい。

4 生徒の学びの履歴

中学1年次における「話すこと・聞くこと」の学習では、自分が望むクラスのあり方について構成・表現を工夫して話す学習を行い、後期に頑張りたいことについて質問をして話を引き出す学習を行った。また、前単元

「読むこと」の学習では、まど・みちお著「ぼくがここに」を読み、考えたり理解したりしたことを基に、自分が「ここにいる」意味や価値について自分自身の考えを形成した。本単元では、これらの学習を生かし、他者の話を聞くことを大切にしながら、自分の考えを広げるための話し合いについて学ぶことにつなげたい。また、自分の考えを話す際や他者から話を引き出し理解する際には、強調する箇所や間の取り方、速さなど話すことや聞くことの音声的な側面を意識させるとともに、どういう言葉であれば相手が話しやすいのかについても考えることにつなげたい。

5 資質・能力育成のプロセス（5時間扱い、本時 □ は4時間目）

次	時	評価規準（想定する「Bと判断する状況」） (丸番号は、2の評価規準の番号)	【】内は評価方法 及び Cと判断する状況への手立て
1	1	思① 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 (○)	【行動観察、ワークシートの記述の確認】 C：これまでの話し合い活動において、自分の考えが伝わった経験・伝わらなかった経験や相手の考えが分かった経験・分からなかった経験を想起させ、話し合いの中でうまくできていることや困っていることを振り返るように促す。
2	2 3	思① 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 (○) 知① 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 (○○) 【Bと判断する状況の例】 自分の考えを伝えたり他者の考えを引き出し理解したりするために、強調する箇所や間の取り方、話す速さなど話し方や聞き方についての工夫を考えている。 知② 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 (○)	【行動観察、ワークシートの記述の確認】 C：これまでの自分の経験や他の人の考え方を参考にしながら、考えを広げられるような話し合いに大切なことを考えるよう促す。 【ワークシートの記述の確認・分析】 C：これまでの学習や他者との交流、「語り合い」の動画を参考にしながら、どのような声や言葉で話したり、聞いたりすれば自分の考えが伝えられたり他者の話を引き出し理解することができたりするかについて考えるよう促す。 【行動観察、ワークシートの記述の確認】 C：これまでの経験や他者との交流を参考に、どのような声や言葉で話したり質問したりすれば、他者が話をしやすくなるかについて考えるよう促す。
3	4 5	思 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 (○○) 【Bと判断する状況の例】 他者の発言や考えと比較したり関連付けたりしながら自分の考えを広げて、自分が「ここにいる」意味や価値についてまとめている。 態 粘り強く話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習課題に沿って他の人の考えを聞き合いながら、自分の考えを広げようとしている。 (○○) 【Bと判断する状況の例】 話し合いを通して考えを広げ、まとめる際に心がけたことや工夫したことを探り返っている。	【ワークシートの記述の確認・分析】 C：前時で考察した「自分が「ここにいる」こと」についての筆者の考え方や思いを確認させ、自分が「ここにいる」ことについて自身の経験なども踏まえて考えるよう促す。 【振り返りの記述の確認・分析】 C：自分の考えを広げるためにどのような点に注意して話し合おうとしたか、他者の考えをどのように関連付けて考えをまとめようとしたかを問いかけ、単元の学習を振り返るように促す。

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<ul style="list-style-type: none"> ・学習プランと学びの手引きで本単元の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 他の人の考えを聞き合いながら、比較したり関連付けたりして、自分の考えを広げる。 【話題】自分が「ここにいる」意味や価値</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前単元の学習を振り返り、自分が「ここにいる」意味や価値について考えたことを確認する。 ・これまでの話し合い活動を思い出しながら、話し合いの中でうまくできていることやうまくできていないこと、困っていることを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プランと学びの手引きを示し、学習の流れと育成したい資質・能力を確認する。 ・前単元の学習（「読むこと」）で考えたことを広げるために話し合うことを確認する。 ・よりよい話し合い活動にするにはどうすればよいかを考える契機にする。 	1
<ul style="list-style-type: none"> ・NHK高校講座「現代の国語」第11回「「信頼」ってなんだろう？」の動画（以下、「語り合い」動画）を視聴し、自分の考えを広げられるような話し合いにするために大切なことを考える。 ・本単元で話し合う6人グループで交流し、話し合う際に大切にするポイントをまとめる。 ・自分が「ここにいる」ことについて、疑問に思うことや他者に聞きたいことを挙げる。 ・グループで共有し、話し合いの中心となる内容や問い合わせを決める。 ・自分の考えを伝えたり他者から考えを引き出し理解したりするための話し方・聞き方の工夫について考える。 ・自分が話す内容をどの程度、どのようにまとめたらよいかについて考える。 ・どのように話し合うか、グループで考えて話し合いの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを広げられるような話し合いにするために大切なことを考える際には、他者の話をどのように聞くかについて考えることに留意するように伝える。 ・話し合う際に大切にするポイントについては、グループでまとめたものを全体でも共有できるようにする。 ・前単元の学習で学んだことや考えたことだけでなく、自分の経験や既存の知識から見いだした疑問なども挙げるよう促す。 ・強調する箇所や間の取り方、速さなど、音声的な工夫について考えるように促す。 ・これまでの学習や経験、「語り合い」動画を参考にして、強調する箇所や間の取り方、速さなど、音声的な工夫について考えるように促す。 	2 3
<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの授業を振り返り、話し合う内容や順番、大切にすることを6人グループで確認する。 ・話し合うグループと話し合いを見るグループに分けて、話し合い活動を行う。 ・話し合うグループと話し合いを見るグループを交代し、話し合い活動を行う。 ・話しいで学んだことを参考に、自分が「ここにいる」ことについての意味や価値について、自分の考えをまとめる。 ・話し合いを振り返り、自分の考えを広げられるように話し合うために大切なことをまとめる。 ・単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目的を意識させながら、事前に確認したものだけでなく、即興的に生まれた話題や問い合わせも大切にするように促す。 ・他のグループの話し合いを見て話し方や聞き方の工夫を見つけるように促す。 ・他者の話をどのように聞き合うかについて留意して話し合いをするように促す。 ・話し合いを通して考えが広がった箇所には赤ペンで線を引くようにさせる。 ・話し合いの方法とともに、音声的な特質についても振り返るように促す。 ・目標とする資質・能力と関連付けて本単元の学習を振り返るように促す。 	4 5

6 学びの実現に向けた授業デザイン

【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

自分の考えを広げるために他者の話を聞くことに留意して話し合いながら、他者の発言や考えと比較したり関連付けたりしながら自分の考えをまとめようとしている姿。



【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

○観点別学習状況のあり方

1. 「知識・技能」の指導と評価

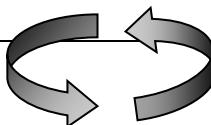
本単元では、(1) ア「音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。」を目標として設定する。他者に自分の考えを伝えたり他者から考えを引き出し理解したりするために、話し方や聞き方を工夫させる。話し合い活動を充実させるには、音声的な側面からの工夫が欠かせない。そこで、NHK高校講座「現代の国語」における「語り合い」の動画（「語り合い」動画）やこれまでの学習を参考にして、強調する箇所や間の取り方、速さなど音声的な側面に着目して話し方や聞き方の工夫について考えさせる。そうすることで、話すことや聞くことにおける言葉の音声的な側面いかに話し合いに影響するかについて理解を深め、自分の考えが広がるような話し合いについて考え実践する「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力の育成につなげたい。また、2年生の指導事項である「言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。」についても目標として設定する。この目標については記録に残す評価は行わない。2年生の指導事項について取り上げるのは、本単元における話し合いの目的が自分の考えを広げることであり、そのためには他者の多様な考えを引き出すことが必要だからである。他者から発言を引き出すにはどのような言葉を用いればよいかを考えることは本単元において重要だと考えた。総括的に評価する際には、音声的な側面に着目して話し方や聞き方を工夫して話し合っているかに留意するとともに、自分の考えを広げるための話し合いに生かすものになっているかに留意する。

2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

本単元では、「話すこと・聞くこと」における「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。」を目標として設定し、自分の考えを広げるための話し合いを考え実践する。前単元「読むこと」の学習で詩を読んで形成した、自分が「ここにいる」ことの意味や価値についての考えを広げることを目的として話し合って考えをまとめることを設定する。「語り合い」動画やこれまでの学習を参考にして、自分の考えを広げるためには、どのように話し合う必要があるかを考えさせた上で、自分が「ここにいる」ことについて疑問に思うことや他の人に聞きたいことを挙げ共有し、中心となる内容や問い合わせを設定させて話し合い活動を行う。そうすることで、自分の考えを広げるための話し合いの方法について理解を深めるとともに、自分と異なる他者の考えを聞き、その考え方と自分の考え方を関連付けながら考え方を広げまとめる力の育成につなげたい。総括的な評価をする際には、自分の考え方を広げるために話し合う方法について考え実践できているか、他者の考え方と比較したり、関連付けたりしながら考え方をまとめているかに着目する。

3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

学習プランやスライド等を用いて単元の学習の見通しや流れを示し、生徒自らがゴールを意識して学習に取り組むことを目指す。話し合う際には、目的に沿った話し合いの方法や話し合いの中心となる内容や問い合わせを生徒自身に考えさせることで、よりよい話し合いの方法を学ぶとともに生徒自身の考え方を広げることにつなげたい。総括的に評価する際には、目的や話題を意識した話し合いの方法について考えようとしているか、他者の考え方を聞き、比較したり関連付けたりしながら自分の考え方を自分の考え方を広げようとしているかといった生徒の粘り強い取組や学習の調整の様子に着目する。



【本単元の学習と「学習の基盤となる資質・能力」とのつながり】

- ・聞き手に伝わる話し方や他者から考え方を引き出し理解する聞き方について考え、音声の働きや仕組みについて、理解を深めるとともに、他者の話を理解しようとしながら聞き、自分の考え方を深めることで**言語能力**の育成につなげる。
- ・他者の考え方を聞いて他者の考え方と比較したり、関連付けたりしながら考え方をまとめることで**情報活用能力**の育成につなげる。
- ・生徒自身が、自分の考え方を広げるための話し合いの方法を考え、疑問に思ったことや他者に聞きたいことから話し合いの中心となる内容や問い合わせを考えて話し合い、考え方をまとめることで**問題発見・解決能力**の育成につなげる。